

園名	ミアヘルサ保育園ひびき富士見台
対象	練馬区富士見台2-2-25 さくらビル1階
活動スケジュール	1歳児 8名 うさぎ組 6月18日(木)・25日(木)…雨の日散歩を通して聞こえてくる音を探しながら楽しむ 7月29日(水)・31日(金)…水遊びをしながら玩具を使用しての音を出しながら遊ぶ 8月17日(月)・21日(金)…夏ならではの行事や戸外での音を聞いてみる
年間テーマ	音(いろいろな音に耳を傾ける)

1 活動テーマ

- ・6月→雨の日散歩に行き、雨の中で聞こえてくる音に興味を持つ
- ・7月→玩具を使用し、水の中に落とした時の音をみんなで楽しむ
- ・8月→すいか割りを通して聞こえる音や、夏の戸外

2 探求活動の内容

- ・雨の日にカッパ、長靴を履き水たまりに入った際の音をみんなで聞いてみる。また傘を用意し、開く時の音や傘に雨が当たる音を傘の中に入って聞いてみる。
- ・水遊びでスーパーボールや水風船を使用し、水や机の上、床などに落とした際の音の違いに気付く
- ・すいか割りの行事を通して、本物のスイカを触ったり叩いたり、疑似のすいかを叩くことでどんな音がするのかを体験してみる。また夏の公園でセミの声に興味を持つ。

3 活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり

- ・6月 雨の中公園に行き、水たまりの中に入り、「どんな音がするかな？」と問いかけながらジャンプをすると子どもたちから「バシャバシャ」や「ぴちゃぴちゃ」などの声が聞こえてきた。また傘を使用し、開閉したり傘の中に入って雨音を耳を澄まして聞いてみる。
- ・7月 水遊びをする中でスーパーボールや水風船を用意すると子どもたちは興味を持ち、積極的に触ったりタライの中に落として遊び、タライの水の中で跳ねる音をポーンと言いながら楽しんでた。水の中だけではなく机や床の上で跳ねさせてみると保育者の音を真似て「ポーンポーンと言いながら子どもたち自身も同じように跳ねながら楽しんでた。
- ・8月 すいか割りの行事では一人ひとり順番にすいかを叩き、どんな音がするかを問いかけてみた。「ポコポコ」や「ポンポン」など叩く場所によっても聞こえてくる音の違いに気付く事ができた。また疑似すいかを棒で叩く際に聞こえる「ボン」や「バン」「パーン」などの音を発しながら叩いていた。また戸外に出た夏の日、セミの鳴いている声に反応し、止まっている木を見上げ一緒に声を出して見てたり耳に手を当てて聞いたりしていた。

【写真】



5 振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

活動中に聞こえる音を聞いて、興味を持てるように取り組んだが、最初は音への関心がそこまでなかった。雨の日にザーザー雨が降る音や、水遊びの際の水風船を投げ入れる音、すいかを叩いた時の音などは積極的に音を聞こうとする姿はあまり見られなかったが、保育者の言葉がけによって少しずつではあるが、各々に聞こえてくる音を口に出す子も出てきた。今回の活動で、自然物の音に少しずつ興味を持ち、聞こえてくる音を口に出すことで、子どもたちの動きがより活発になる事がわかった。